

平成28年 7月 6日

運輸審議会

会長 鷹箸 有宇壽 殿

公 述 申 込 書

運輸審議会一般規則第35条の規定により、下記のとおり公述申込みを致します。

記

1 公述しようとする事案

事案番号 平28第4001号

事案の種類 軌道運送高度化実施計画の認定

事案の申請者 宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社

2 公述しようとする者

(ふりがな) みずぬま ただし

氏名 水沼 正

(郵便番号) 〒 [REDACTED]

住所 [REDACTED]

職業 自営業

年令 46歳

3 事案に対する賛否

賛成

4 利害関係を説明する事項

5 自宅、勤務先等の連絡先電話番号

自宅連絡先 [REDACTED]



## 公 述 書

私は芳賀町に住む水沼正（みずぬま ただし）と申します。

年齢は46歳。芳賀町で自営業を営んでおります。

家族構成 妻・長男・次男・祖母・父・母・妹 8人家族です。

宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社が提出した軌道運送高度化実施計画に賛成の立場から公述させていただきます。

まず1つ目の賛成の理由は、芳賀町から宇都宮市へ、宇都宮市から芳賀町への通勤・通学の利便性向上と安全の為です。

（1）自分の通学体験からです。

私は、今から30年前宇都宮市内の高校に通学していました。ほぼ毎日片道約20kmの道りを自転車で3年間休まず通いました、遅刻も一度もしませんでした。

自転車だと朝は約1時間掛かります、AM7:20に芳賀町を出発すれば8:30の始業には間に合いました。帰りは疲れて1時間10~30分ぐらい掛かりました。

通学のバスは、朝の通学時間帯に3本ありました。始業時間2時間前の6時台前半のバスに乗ると約30分で宇都宮駅に着きます。本来であれば7時台のバスに乗れば始業には充分間に合う計算です。しかし、7時前のバスに乗らないと遅刻してしまう状況でした。

理由は通勤の大渋滞で大幅に遅れる日がありバスでは時刻表通りには着かなかったからです。

バス通学より自転車通学の方が速いし時間が正確だったのです。

また高校では部活をやっていたので、バス通学だと帰宅時間帯のバスの本数が少なく、帰りのバスを待つ時間を考えると、結局バス通学より自転車の方が便利でした。

芳賀町は、私が学生の頃は宇都宮学区でした。（今は学区そのものがあるかどうか分かりません）

当時、高根沢町、氏家町（現在のさくら市）は宇都宮学区外でした。高根沢町、氏家町から通学する同級生は通学に電車を使いJR宇都宮駅まで15分~20分でした。私の通学の事で高根沢町・氏家町の同級生に「なんで電車で来ないの？」と聞かれて「芳賀町は電車が通ってないんだよ」と答えると、「なんで芳賀町に電車通って無いの？何でそんなに遠い宇都宮まで来るんだよ？」と聞かれました。高根沢町と芳賀町は宇都宮市までの距離は同じくらいですが、氏家町より芳賀町の方が距離では宇都宮市に近いのです。電車が生まれた時から通っている同級生にとっては、電車がある生活が当たり前なので、電車が通ってない不便さを理解出来ないのでしょうか。私もこの時どうして、芳賀町には電車が通ってないんだろう？と自分でも凄い疑問を持っていました。朝の通勤通学の大渋滞の事を考えると電車が通っていたら便利なのにと3年間ずっと思っていました。

私は高校1年のときに自転車通学途中で交通事故に遭いました。

相手は通勤途中の乗用車でした。T字路で出会い頭に衝突し、私の自転車は一回転、私も空中に投げ出されて自動車のボンネットで一回転して、車道へ背中から落ちました。

一瞬、息が出来ませんでしたが、すぐに起き上がり自転車のチェーンを直し、ハンドルの曲がりを通して直ぐに自転車に乗って学校に向いました。このときはあまりに怖くそして動揺して、この場から早く立ち去りたいのと、遅刻したくない一心でした。学校に着いてから、背中が凄く痛み出し早退して病院へ行きました。軽い打撲でしたが、頭を打たなくて良かったのと、車道へ飛ばされた時に対向車が来なかったのも、運良く軽症で済みました。自転車通学3年間の間には他にもヒヤッとした経験は何度もありました。

私の妹も宇都宮市内の高校に通っていたのですが、私と同じようなケースで、事故に遭い、大した怪我はなかったのですが、自転車通学が怖くて出来なくなり、親の送迎、バス通学になりました。やはりバス通学は、本当に不便だったそうです。

(2) 自分の子どもの通学体験からです。

私には2人の子どもがいます。現在は2人とも大学生で県外に住んでいます。

次男は宇都宮市内の私立高校に通っていました。次男はどうしてもその高校でスポーツ(部活)がやりたいという希望で進学しました。やはり親として心配したのが通学です。安全を考えるとバス通学ですが、スクールバスもありません。私が利用していた最寄りのJRバス路線はいつの間にか廃止になっておりました。あんなに不便だったバス路線でも無くなっていると知ってショックでした。どうやって次男を通わせよう?部活もやらせたいので、覚悟を決め、芳賀町から宇都宮市にある関東バスの柳田車庫まで約12kmを毎朝送迎する事にしました。それには芳賀工業団地と鬼怒川の柳田大橋を通らなければなりません。帰りは、再度鬼怒川を渡り芳賀工業団地を通過して帰宅しなければなりません。この渋滞が凄いです。実際に柳田車庫まで送迎したのは1年半でしたが、本当に凄い渋滞です。毎日宇都宮方面から芳賀工業団地に通勤されている方達の苦労は並大抵ではないと思いました。

なぜ1年半で柳田車庫までの送迎が無くなったかというJRBバスの車庫が宇都宮市内から芳賀工業団地内に移転されてきたからです。

新たな芳賀工業団地のJRバスの車庫(芳賀バスターミナル)は、自宅からだ和本田研究所の手前なので渋滞がないのです。お陰で通学が便利になりました。しかしそこからJR宇都宮駅までは約14kmで通学時間は約1時間掛かります。運賃は790円です。

便利になったと言っても30年前から芳賀町から宇都宮駅への通学の時間も運賃もバスの本数もほとんど改善されておられません。

現在、JR宇都宮線の宝積寺駅~宇都宮駅までは約12kmで通学時間は約12分掛かります。運賃は237円です。氏家駅~宇都宮駅までは約18kmで通学時間は約17分掛かります。運賃は324円です。いかに芳賀町から宇都宮駅までの交通アクセスが不便で運賃が高いかわかります。

しかし現在、紆余曲折ありましたが、長年の夢だった芳賀・宇都宮LRTの計画がいよいよ現実のものとなってきました。芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の資料を見ると芳賀工業団地内にある芳賀工業団地管理センターからJR宇都宮駅東口までは約13kmで通学時間は約40分。運賃は400円です。しかもピーク時6分間隔、オフピーク時10分間隔でLRTを運行する計画です。これは従来の公共交通と比較すると夢のような計画です。是非、芳賀町から宇都宮市内に通う学生達の為に安全で便利な芳賀・宇都宮LRTが実現して欲しいです。

また芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画を見ても芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地合わせて約21,000人の方達が通勤されています。清原工業団地にも約9,000人の方達が通勤されています。合わせて約30,000人の方達が毎日渋滞の中を通勤されていると思うと1日も早く芳賀・宇都宮LRTが実現して欲しいと切に願わずにはられません。

次に2つ目の賛成の理由は、芳賀町から県外へ県外から芳賀町への公共交通の利便性向上の為です。

私は芳賀町で自営業を営んでおります。県外から弊社（芳賀町）に来る場合は、ほとんどの方が自動車です。それは公共交通が不便だからです。でも中には自動車に乗れない方、電車で来る方もいらっしゃいます。その場合、宇都宮駅までお迎えにあがります。みんなお迎えに行くと恐縮がります。栃木は東京から近県で宇都宮市から近いのにこんな不便な所もあるのですねと驚きます。先月（6月）石川県金沢市から取引先の方が初めて朝早くに駅からタクシーで来てくれました。その方は石川県の観光特使もしています。北陸新幹線が開通したので、今度栃木から大勢観光客を連れて来て下さいと石川県の観光PRにきてくれました。石川県の魅力を一生懸命に語ってくれました。石川県に行きたいと思いました。話が一段落して、この後も千葉市の取引先まで同じように観光PRに行くと言うので、宇都宮駅まで送って行きました。車の中でお互いの地場産業の話をしたのですが、地元を魅力ある地域に出来るか、魅力を発信出来るか、行政と地場産業の連携が出来るか、国内外から観光客をどれだけ呼べるかに掛かってくると言っていました。全国を飛び回っている観光特使の方が芳賀町の交通の便の悪さに驚いておりました。これでは芳賀町には観光客は呼べませんねと言葉では言いませんでしたが、栃木は東京からも近いし恵まれているのだからもっと危機意識を持った方が良いと言われ、交通の便が悪いのが当たり前と思っている自分に気付かされました。私は芳賀町商工会の理事を務めています。観光特使と言う肩書はないですが、商業・農業・工業者は芳賀町の魅力をもっとPRしなければなりません。芳賀町で採れるお米、梨、いちご、トマト、ブドウなど農産物は本当に美味しいです。全国各地に旬の芳賀町の農産物や芳賀町近隣のお酒や餃子や菓子など栃木自慢の特産品を送ってあげるとみなさん喜んでくれます。もっと全国から芳賀町に来て欲しい。来てもらえるように芳賀町内、芳賀町近隣の市町、そして栃木県全体でも地域の産業も観光も力を入れて商業も振興していかなければなりません。行政とも協力して県外から来て頂く方達の為にも公共交通の利便性向上もしっかりしなければなりません。北陸新幹線も計画から長年の歳月を経てとうとう夢が叶ったのです。

芳賀・宇都宮LRTも栃木の魅力を全国に伝播する為にも必ず実現して欲しいです。

次に3つ目の賛成の理由は、将来の住民の公共交通の利便性向上の為です。

単純に芳賀町の公共交通の脆弱さを改善して欲しいです。

1つ目と2つ目の賛成理由で通学や通勤、県内外からの公共交通の利便性向上の必要性を色々述べさせて頂きましたが、将来の芳賀町の住民として子ども達が芳賀町に住みたくなるだろうか？将来安心して子育て出来るだろうか？将来安心して働けるだろうか？自分も歳老いて車の運転に自信がなくなり自分で運転が出来なくなったら？などと将来について不安に思うこともあります。芳賀町の住民サービスは先進的だと思います。町内のデマンド交通も整備されています。ただ町外へそして町外からの公共交通の脆弱さは、目を覆うばかりです。これは芳賀町だけではどうする事も出来ません。国、県、近隣市町との協力なしには公共交通整備は出来ません。今回の宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社の提出した軌道運送高度化実施計画は、まさに芳賀町の未来への架け橋です。近年の宇都宮市ゆいの杜地区の発展は目覚ましいです。隣接地区として芳賀町民から見ても本当に住みやすそうな、住んでみたい地域です。責任世代として前世代、次世代、次々世代に住みやすい公共交通も含めた公共福祉インフラを近隣地域とも協力して残していかなければなりません。

LRTが宇都宮駅からゆいの杜地区を通過して芳賀工業団地まで来てくれば、宇都宮東部地区、ゆいの杜地区も更に魅力ある地域となりますが、芳賀町も宇都宮東部地区に負けない魅力的な地域になる潜在能力があります。どうか公共交通の脆弱な芳賀町の将来の住民の為に芳賀・宇都宮LRTを実現して欲しいです。

以上、3つを宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社の提出した軌道運送高度化実施計画の賛成理由として公述させて頂きました。

最後になりますが、芳賀町、宇都宮東部地区の将来の住民の為に、宇都宮市内、芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地、清原工業団地に通勤通学している多くの方達の為に、そして県内外へ芳賀町近隣市町の魅力を伝播する為に重ねて計画の認定をお願い致します。